

生物多様性 2010 年目標の達成状況を示す指標の推移

生物多様性の構成要素の状況と推移

	特定の生物群系、生態系及び生息地の規模の推移	生息地の面積は世界のほとんどの地域で減少しているが、森林面積は一部地域で増加し、マングローブ林については、アジアを除き、減少速度が顕著に低下している。❀❀❀
	特定の種の個体数及び分布の推移	個体数と分布が限られているほとんどの種はさらに減少しているが、一部の普通種及び侵略種は増加している。❀❀❀❀❀ (ただし限られた分類群を評価)
	絶滅危惧種の状況の変化	いくつかの種の回復プログラムがめざましい成果を取めているものの、多くの絶滅危惧種で絶滅リスクが増大している。❀❀❀❀❀ (評価対象となった種について)
	社会経済的に重要性の高い家畜、農作物、魚種の遺伝的多様性の推移	栽培種の遺伝的多様性が低下している可能性が高いが、こうした低下の程度及びその全体的な影響はよくわかっていない。❀ (ただし確実性の高いことを示す事例研究も多い)
	保護地域の指定範囲	保護地域の指定範囲は、過去10年で、陸上と海洋の双方で著しく増加している。しかし、多くのエコリージョン、特に海洋生態系の保護は依然不十分であり、また保護地域の管理の有効性にもばらつきがある。❀❀❀❀❀

生態系の完全性と生態系が提供する財とサービス

	海洋食物連鎖指数 (平均栄養段階)	強い圧力にもかかわらず、海洋食物連鎖指数 (平均栄養段階) は1970年以降、地球規模では緩やかに増加している。しかし、地域によって大きな差があり、データのある海域の半分では減少が記録されている。地球規模での増加は、回復を示している可能性もあるが、漁船が活動範囲を広げたことによって、大量の大型捕食魚が捕獲されずに残っている海洋資源に遭遇しているだけ、という可能性の方が高い。❀❀❀❀❀
	生態系の連続性と分断化	とりわけ気候変動への適応に関して、回廊 (コリドー) や連続性の価値の認識が高まっているにもかかわらず、ほとんどの陸域・水域生態系でますます分断化が進行している。❀❀❀❀❀
	水域生態系の水質	世界のほとんどの場所で水質が悪化している可能性が高いが、一部地域では点源汚染の管理により水質が改善している。❀❀❀❀❀

生物多様性に対する脅威

	窒素蓄積	地表の反応性窒素の生成速度が、によって二倍になっている。栄養素汚染による生物多様性への圧力は依然として増加しているが、栄養素の利用効率を上げて水中や大気中への放出を減らす措置の中には、好ましい効果が現れつつあるものもある。❀❀❀❀❀
	侵略的外来種の動向	全大陸のあらゆる種類の生態系において、外来種の数が増加し、拡大の速度も増している。❀❀❀❀❀ (ただし確実性の高いことを示す事例研究も多い)

持続可能な利用

	持続可能な管理下にある森林、農業、水産養殖生態系の面積	持続可能な管理下にある土地の面積を増やすことを目的として、多くの取組が行われている。持続可能な森林管理の各地域レベルでのプロセスが、これに寄与するものと期待される。倫理的かつ健康的な製品の需要が増し、伝統的な農業慣行の維持と活性化につながっている。しかし、これもまだ比較的小さな隙間市場でしかなく、持続可能な管理下にある土地の面積を顕著に増加させるには、多大な努力が必要とされる。❀❀❀❀❀
	エコロジカル・フットプリントとその関連概念	人類のエコロジカル・フットプリントは増大している。資源効率の向上のための努力は、人口の増加と富裕層の増加に伴う消費拡大により打ち消されている。❀❀❀❀❀

伝統的知識・工夫・慣行の状況

	言語の多様性と先住民言語を話す人の数の状況と推移	多くの少数民族の言語が消滅の危機にあると考えられ、言語の多様性が減少している可能性が極めて高い。❀❀❀❀❀ (ただし、確実性の高いことを示す事例研究も多い)
--	--------------------------	--

ABS (遺伝子資源のアクセスと利益配分) の状況

	ABS指標の開発	追加的な指標の必要性及び考えられる選択肢について、ABSに関するアドホック公開作業部会において検討中である。
--	----------	--

資源移転の状況

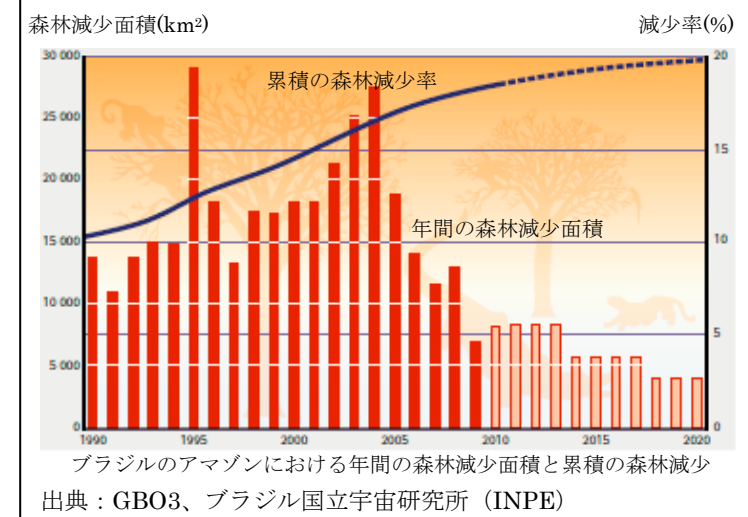
	生物多様性条約の支援を目的とした政府開発援助 (ODA)	生物多様性のためのODAは過去数年で増加している。❀❀❀❀❀
--	------------------------------	--------------------------------

好ましくない変化
 好ましい変化
 地球規模での明確な傾向はない。対象となる地域や生物群系により、好ましい変化と好ましくない変化が見られる
 最終的な結論を出す十分な情報がない

確かさ: ❀❀❀❀❀ 低い ❀❀❀❀ 中程度 ❀❀❀❀❀❀❀ 高い

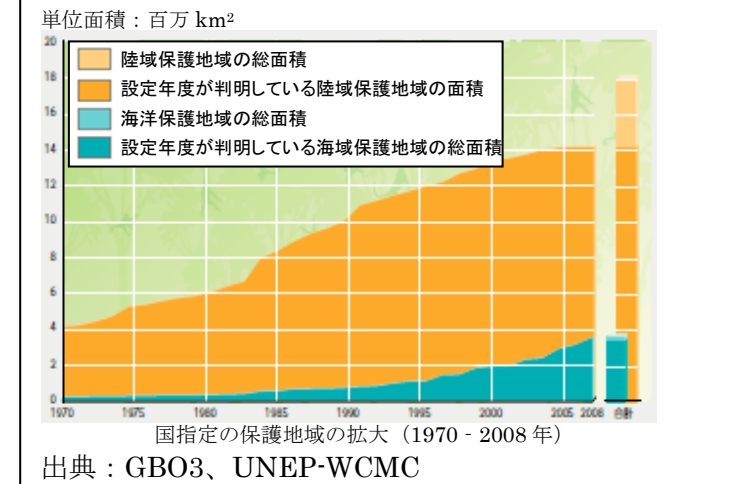
生態系及び生息地の規模

森林減少は依然として驚異的な速さで進行しているものの、減少の兆しを見せている国もある。

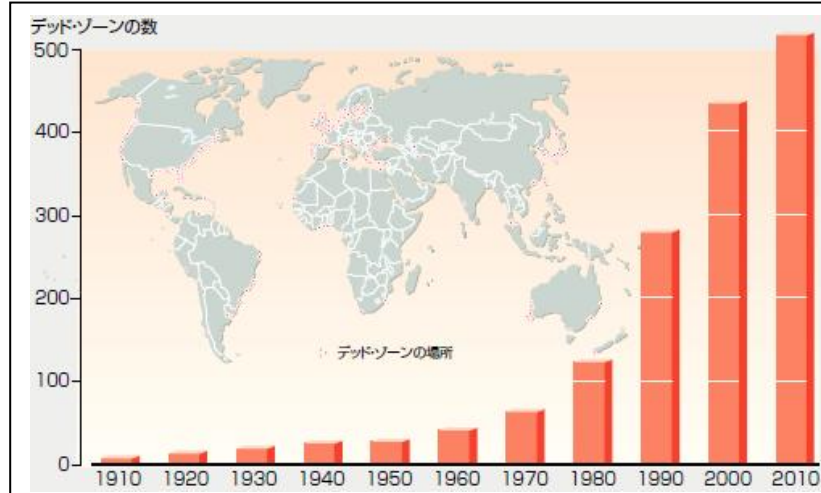


保護地域の指定

保護地域に指定されている陸域と海域の表面積は、1970年以降、着実に増加している。



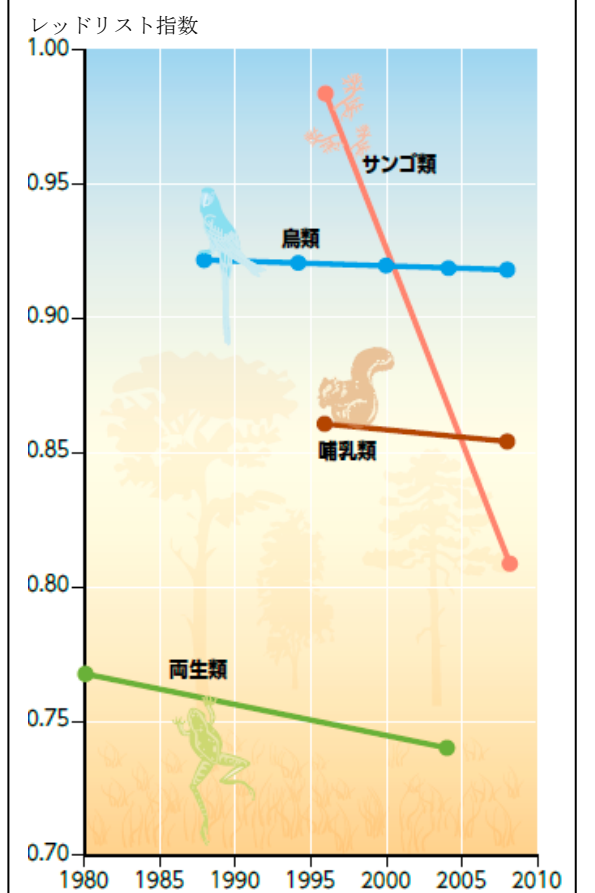
窒素蓄積



出典: GBO 3、Diaz and Rosenberg (2008) の情報を更新。「サイエンス」誌

絶滅危惧種の状態の変化

サンゴ類の絶滅リスクが急速に高まっているが、両生類が最も絶滅の危機に瀕している。



レッドリスト指数の値が 0 であれば、グループのすべての種がすでに絶滅したことを表す。

出典: GBO3、IUCN

海洋の「デッド・ゾーン」の数は、1960 年代以降 10 年ごとにおおよそ倍増している。

デッドゾーン: 栄養素の蓄積などにより大半の海洋生物が生存できないほど、水中の酸素濃度が低下した沿岸海域